

松浦おさかなまつり



第12回松浦おさかなまつり（松浦魚市場協会主催）が11月1日、松浦魚市場で開催されました。

基幹産業の水産業を市内外に広くPRしようと毎年開催しています。

この日は、鮮魚や海産物などの販売や魚のつかみどり、マグロの解体実演、魚の模擬セリ、海鮮バーベキュー、海鮮鍋の無料配布などが行われ、市内外から多くの人を訪れました。

魚のつかみどりでは、タイ、イサキ、ハマチなどが入った水槽の中に子どもたちが入り、全身ずぶ濡れになりながらつかんだ魚をうれしそうに持ち帰っていました。

コスモス畑の収穫祭



第6回コスモス畑の収穫祭が11月2日、御厨町田代地区で開催されました。

秋の収穫、味覚、自然を楽しんでもらおうと、田代地区グリーン・ツーリズム研究会（岩木保徳会長）が毎年開催しています。

この日は、野菜や新米などの直売所が設けられたほか、大型農業機械の展示、フォトコンテストやジャンボカボチャの重量当てクイズなどが行われました。また、収穫したばかりのサツマイモともち米で作ったイモもちが振る舞われ、訪れた人たちは、約50万本のコスモスが咲きほこる中、秋の味覚に舌鼓を打っていました。

福島ふるさと祭り

第23回福島ふるさと祭りが11月9日、福島総合運動公園一帯で行われました。

農水産物の販売促進と観光PRを目的に毎年開催されています。今年は4年ぶりに浅谷浮立（写真）の披露もあり、浮立が終わると観客からは盛大な拍手が送られました。また、恒例の和船櫓漕ぎ大会には



は職場職域対抗、ジュニア&レディース対抗、地区対抗の部に30チーム約200人が参加。櫓漕ぎの技術とチームワーク

を競いました。まっすぐに進まず、ほかの船とぶつかる船もあり、観客から笑いとお声が上がっていました。上位の結果は次の通りです。

〈職場職域対抗〉

- ①肥前福島釣クラブ
- ②端区壮年会
- ③清水左建老権クラブ

〈ジュニア&レディース対抗〉

- ①ナベグッシー
- ②播磨釜子供会
- ③日の浦子供会

〈地区対抗〉

- ①伊万里釜
- ②里
- ③喜内瀬



松浦の

わいわいフェスタ



第12回健康福島一周わいわいフェスタ2008が11月16日、福島町で開催されました。

健康維持と交流を目的に、福島陸上協友会が毎年開催しています。

この日は、約130人が参加。福島港バス停前を発着点とした福島町を一周する13.25^{キロ}のコースを、思い思いの速さで歩いたり走ったりしながらゴールを目指しました。

参加者たちは、コース途中の満開のコスモスなどを楽しみながら、さわやかな汗を流していました。

鷹島モンゴル祭り



第15回鷹島モンゴル祭りが11月2日、鷹島モンゴル村で開催されました。

地域活性化と同施設のPRのために毎年実施しています。

この日は、日本相撲協会大島部屋の大島親方をはじめ、旭天鵬関らモンゴル出身力士も来訪し、朝稽古や魚のセリ市、ステージショーなどで多くの市民と触れ合いました。



松浦水軍まつり

第8回松浦水軍まつりが10月25日、26日、市役所周辺で開催されました。

オープニングでは、勇壮な松浦水軍の武者姿で登場したまつり実行委員会の小松英史会長が、まつりの開会を宣言。2日間にわたり、各プログラムや物産の展示即売などが行われました。あいにくの雨で予定されていた武者行列や市民総踊りなどのパレードは中止となりましたが、ステージでは、ものまねショー、YOSAKOIダンス、太鼓、園児のマーチングなどが行われ、大勢の人出でにぎわいました。

また、松浦よかとこ大使選彰式では辻笑菜さん(志佐・不老山、21)が紹介され、^{あやか}昨年^{えな}のよかとこ大使の志水彩夏さんから冠が渡されました。



◀フィナーレのもちまきでは大勢の人がステージ前に集まりました。